



## できたよ！世界で一つの私の花びん



6月30日、第5回目のスマイル教室。午後1時すぎには、スマイルスタッフの皆さんが来られ、教室の準備をされました。

今日は陶芸教室。講師は東広島市内でたくさんの教室を開いておられる吉本より子先生です。先生にスマイルで講師をしていただくのは12年目になるそうです。スマイルの先生方は、新聞紙を広げたり、受付の準備をしたり、急な雨対策をしたり、かわいい花瓶に花を入れたり……と大忙し。そこへ、吉本先生の車が到着。たくさんの材料や道具を図工室に運び入れられました。

一斉下校が済むと、子供たちが元気な挨拶とともにやって来ました。ランドセルと水筒を廊下にきちんと並べ、受付で元気な声で挨拶をして図



工室に入ります。まなぶちゃんノートやファイルを決められたところに置き、自分の席に座ります。始めの挨拶などは上級生の役目です。材料や道具を目の前にして、わくわくしながらお話を聞いています。



4年生のAさんは、「土を丸く伸ばすところが難しかったです。型や布を使って好きな感じに模様をつけることが楽しかったです。」と話してくれました。

終わりの会で「吉本先生はね、みんなの作品を持って帰ってくださったら、乾燥させて釉薬をかけ、窯で焼いてくださって取り出して持ってきてくださってやっと出来上がりです。たくさんの時間を使ってくださっていることは覚えておいてくださいね。」とスマイルの先生が締めくくられました。



保護者の方が迎えに来られたので、インタビューさせてもらいました。

3年生児童の保護者Bさんは「今年はスマイルの活動に、運よく受かって楽しんでいます。毎週、やっと木曜日になったと喜んで参加しています。前回あった科学実験の日も大喜びで帰ってきました。」と話してくださいました。

子供たちが帰って行ったあと、スマイルスタッフの皆さんは反省会をされます。「あの子はほんとしっかりしてきたね。」「今日は、〇〇さんは、元気な声で挨拶してくれたから安心しました。」「〇〇さんが図工室を掃きまじょうかと言ってくれましたよ。」等、子供たちのことを温かく見守ってくださることがよく分かりました。



#### <スマイルの成り立ち>

放課後子供教室は、平成23・24年ごろ文科省の補助事業の一環としてスタートしています。御園宇小学校区では御園宇放課後子供教室「スマイル」と命名され、学校では体験できない諸々の経験を、異年齢の関わりの中でさせてやりたいと、地域住民の皆さんが中心となって立ち上げられました。本年度の活動計画を見せていただきました。

今年度は年間26回。ミュージックベル・おり紙・英語・茶道 けん玉・飛び出すカード等々、子供たちの興味をそそる活動が盛りだくさんでした。今回の陶芸作品は花瓶に出来上がり、9月のスマイルで子供たちの手元に届きます。

下の写真はその日の活動を振り返る「ふりかえりカード」です。カードには、「笑顔（スマイル）を忘れず みんな仲よく 楽しい教室にしましょう。」と書いてあります。

